

戦評用紙

大会名	令和8年度 第77回山形県高等学校総合体育大会兼全国高等学校体育大会山形県予選会
-----	--

日時	2026年6月7日 12:45 ~	区分	高体連
----	-------------------	----	-----

チームA				チームB	
山形中央				酒田南	
64	21	1Q	19	67	
	15	2Q	12		
	14	3Q	14		
	14	4Q	22		
		延長			

【戦評】

<p>決勝戦は、4月に行われた藤井高野杯決勝と同じ、山形中央(以下、山中)と酒田南(以下、酒南)の一戦となった。</p> <p>スターティングメンバーは、山中#1、#9、#16、#27、#39、酒南#8、#00、#75、#82、#22</p> <p>1Q 山中はマンツーマンディフェンス、酒南は2-3のゾーンディフェンスでスタート。開始20秒山中#9のスリーポイントシュートでスコアが動いた。その後山中がフリースローを獲得し、流れは山中かと思われたが、酒南は#22の高さを活かしたオフェンスから得点を奪う。酒南#00、山中#9が互いにスリーポイントを決める。山中はディフェンスからの速攻で得点を重ねる。それに対し酒南は我慢の時間が続くものの、#22の高さを活かして食らいつく。酒南は#00の連続得点で2点差まで追いつける。21-19、山中リードで終了。</p> <p>2Q 開始早々、山中#27がドライブからレイアップを決めるが、すぐさま酒南#75が見事な合わせからシュートを決める。一進一退の攻防が続いたが、酒南が高さを活かした攻撃で23-23と同点に追いつく。そこから山中は、#9の連続スティールで突き放しにかかる。酒南は、#75の連続得点で食らいつく。ラストは山中#16のブザービータースリーポイントが決まり、36-31で前半戦を折り返す。</p> <p>3Q 後半開始早々、酒南#22のシュートでスコアが動く。酒南は高さを生かした攻撃と2-3のゾーンディフェンスがハマリ、後半開始3分逆転に成功。その後は山中の個人技と酒南の高さを活かしたチーム戦術でお互い譲らない展開を見せる。山中#9と#39による3連続スリーポイントシュートが決まり、酒南たまたまタイムアウト。タイムアウト明け、酒南は激しいディフェンスから流れを掴み、点差を縮める。50-45、山中リードで終了。</p> <p>4Q 酒南#22の連続得点、#00の2連続スリーポイントでスタートから酒南が流れを掴みかけるも、山中#9も負けじとスリーポイントを決め返す。4Q残り7分、55-55で試合は振り出しに戻る。その後は互いに一歩も譲らない攻防を見せるも、酒南#75と#00の連続シュートが決まり、スコアは55-60、山中たまたまタイムアウト。その後は一進一退の攻防が続く、試合時間残り1分30秒、酒南#22のフリースローが決まりスコアは64-65で酒南一歩リード。その後、山中は果敢に攻めるも酒南が値千金のスティールを決め、山中万事休す。64-67で試合終了。酒田南が悲願のインターハイ初出場を決めた。最後まで熱い戦いを繰り広げた両チームに拍手を送りたい。</p>
--

戦評者 成澤翔太郎、村上魁人